

大規模集積回路

LSI設計任せて

有明高専、2年連続準優勝



準優勝した有明高専の近藤さん、安部さん、中尾さん（左から）＝大牟田市東萩尾町

国内外の学生競う

大牟田市の有明工業高等専門学校の3人組チームが今月、沖縄であった「LSI（大規模集積回路）デザインコンテスト」で準優勝した。同校としては2年連続の準優勝。国内外の学生たちが競い合う大会で実力を発揮している。

専攻科1年の安部成就さん(21)と同科2年の近藤一輝さん(22)、高専5年の中尾太陽さん(20)の3人。デジタルLSI設計に関する国内有数のコンテストで、国内やタイ、ベトナム、インドネシアの大学や高専などから学生約1000人が参加。参加チームは「人物検出画像処理システム」を設計テーマに応募し、書類選考で13チームが残った。

昨年の準優勝チーム(2人)の一員だった近藤さんの経験を引き継いで、安部さんが中心になって昨年12月から今年1月にかけてシステムを開発した。

今月11日にあったコンテストでは、安部さんが英語でプレゼンテーションをした。3人を指導した石川洋平・電子情報工学科准教授は「簡単にイメージがわかる仕組みをまず考え、それを土台に、実際に利用できる高度な仕組みに移し替えた点が評価されたと思う。プレゼンも良かった」と話した。

安部さんは「うれしい」と言いながら「優勝を目指していたのでちょっと残念でもあります」。近藤さんは4月から地元企業に就職して知識を生かす。中尾さんは4月から鹿児島大学工学部3年に編入するといふ。

(堺謙一郎)